

衆議院厚生労働委員会ニュース

【第 217 回国会】令和 7 年 3 月 14 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

・福岡厚生労働大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）八幡愛君（れ新）、田村貴昭君（共産）、福田徹君（国民）、森ようすけ君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

八幡愛君（れ新）

（1）高額療養費制度の見直し関係

ア 同制度を利用している当事者からの不安の声に対する厚生労働大臣の受止め

イ 同制度の見直しに賛成した審議会の構成員と国民の感覚との乖離

ウ 今後の社会保障改革においても当事者を議論に参加させる必要性

（2）今国会提出予定の年金制度改革関連法案関係

ア 提出できていない理由

イ 低年金が懸念される就職氷河期世代への対応策

（3）自殺対策関係

ア SNS 等で公開された市販薬のオーバードーズに関する政府広報の妥当性

イ ギャンブル依存症を含む依存症対策の予算を増やす必要性

（4）医療DXの推進に向けて情報漏洩対策を含めた国による支援を充実させていく必要性

田村貴昭君（共産）

（1）高額療養費制度の見直し関係

ア 当事者の意見を考慮していなかったことの妥当性

イ 自民、公明、維新で結ばれた社会保険料の負担軽減に関する 3 党合意の今後の取扱い

ウ 高額療養費の負担上限引上げによる患者の受診行動への影響

エ 医療費の自己負担増による患者の受診行動への影響についての厚生労働省のこれまでの説明内容

オ 医療費の自己負担増が患者の受診行動の変化につながらないとする根拠

カ 医療費全体の伸びと高額療養費に要する費用の伸びを比較して応能負担の観点から制度を見直す
うとすることの妥当性

キ 患者負担の引上げではなく新規開発医薬品の高額な薬価の抑制を図る必要性

（2）最低賃金関係

ア 物価上昇を上回る賃上げが実現する時期

イ 最低賃金の全国平均 1,500 円の早期達成に向けた厚生労働大臣の決意

ウ 中央最低賃金審議会が示した目安を上回る引上げが地方で行われていることを踏まえ現実に関
わせた最低賃金の引上げを行う必要性

エ 中小企業による賃上げ実現に向けて国による直接支援を拡充していく必要性

福田徹君（国民）

（1）新たな地域医療構想において必要となる医療機関の連携・再編・集約化への国民及び医療機関からの同意を得るための説明の方策

（2）医師偏在対策関係

ア 現行の仕組みで行っている外来医師多数区域における新規開業希望者に対して地域に必要とされ

- る医療機能を担うよう求める要請への合意の割合
- イ 今国会提出の医療法等改正案において外来医師過多区域における新規開業希望者への要請について勧告・公表が可能となることによる合意の割合の増加の想定
- ウ 今国会提出の医療法等改正案において医師が不足している地域の医師に対して支給しようとする手当の額及びその財源を保険者からではなく国費からの拠出とする必要性
- (3) かかりつけ医機能を推進しながらフリーアクセスを維持する理由
- (4) 地域における病院の経営が悪化している原因及び措置している対策

森ようすけ君（国民）

- (1) 現役世代の社会保険料負担関係
- ア 全世代型社会保障の具体的な考え方
- イ 事業主負担も含めた現役世代の社会保険料の負担が過重である現状に対する厚生労働大臣の見解
- ウ 高額療養費制度の見直しが凍結された中での現役世代の社会保険料負担の軽減の方策
- エ 高額療養費制度の見直しの代替案として後期高齢者の窓口負担の引上げについて検討を加速する必要性
- オ 「全世代型社会保障構築を目指す改革の道筋」にも 2028 年度までに検討する取組として記載されている後期高齢者医療制度における窓口負担割合の見直しの今後の詳細なスケジュール
- カ マイナンバーを活用して把握できる金融所得又は金融資産を勘案して社会保険料を負担してもらう方向で検討する必要性
- (2) 今国会提出予定だが未だ未提出の年金制度改革関連法案について提出した上で議論する必要性
- (3) 「130 万円の壁」への対応としてのキャリアアップ助成金の拡充の内容及び「106 万円の壁」への対応として現在実施している同助成金の利用状況